

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカるっ!

なぜのユーワク

『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』(光文社新書) という本がミリオンセラーになって以来、疑問系のタイトルが気になって仕方ない。最近では『稼ぐ人はなぜ、長財布を使うのか?』(サンマーク出版) や『人はなぜ眠れないのか?』(幻冬舎新書) が私を眠れなくする。ピュアな語り口でオトナの事情に鋭く切り込む『お金持ちのお金はなぜなくならないの?』(メディアファクトリー) なんて、まさにプロの仕事。

まあ、これらの本は他人ごととして客観的に読めそうだけど、主語が「あなた」になると、もはや冷静ではいられない。『なぜ、あなたはいつもお金が足りないのか?』(ベスト新書)、『なぜあなたは食べすぎてしまうのか?』(東京書籍)、『あなたの話は、なぜ伝わらないのか?』(日本経済新聞出版社) などなど、身につまされて痛すぎる。

一方、身近な人への漠然とした嫉妬心をかきたてるのが『なぜあの人は逆境に強いのか?』(ダイヤモンド社) だ。著者の中谷彰宏氏は「なぜあの人は」シリーズをこれまで30冊以上出しているから驚く。『なぜあの人は人前で話すのがうまいのか?』『なぜあの人は整理がうまいのか?』『なぜあの人は勉強が続くのか?』『なぜあの人は仕事ができるのか?』『なぜあの人はいっつもやる気があるのか?』『なぜあの人は10歳若く見えるのか?』『なぜあの人はお金持ちになるのか?』『なぜあの人は壁を突破できるのか?』……。うーん、なぜ中谷彰宏はこんなに本が書けるのか。

そんな中、私は普遍性のあるユルいタイトル本を見つけて癒された。『なぜ、「これ」は健康にいいのか?』(サンマーク出版) である。「これ」って一体何なの! と突っ込む前に、まずは「お酒」「プリン」「夜ふかし」「ずる休み」など、自分に都合のいい言葉をあてはめて遊んじゃおう。ちなみに当コラムは「コトバカっ!」。「これはなぜ、トんでもなく、バツぐんに、あれなのカッ!」という超普遍性のあるタイトルを短くしたもののなんですよ。フンっ。

相川藍(言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞) 受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。